

みはら情景 わがしの思い出

広島大学附属
三原学園



広島県三原女子師範学校が創立された頃の正門



昭和30年代に建てかえられてから、現在に至るまで、多くの子どもたちが学んできた小学校の校舎

自ら伸びよ



吉永 一恵さん
(頼兼一丁目)

「学園内に、約80年も
たっているヒマラヤ杉
は、今も健在です」

明治42年に、広島県三原女子師範学校が創立されてもうすぐ100年。現在も、広島大学附属三原学園には、多くの子どもたちが元気に通っています。吉永一恵さんは、昭和31年から小学校の教諭として長年勤め、多くの子どもたちを見守ってきました。一年に二回あった遠足のうち、秋の遠足では、日の丸弁当を持参することが、戦時中から始まった伝統として受け継がれていました。この遠足は、粗食で体を鍛えることを目的としていて、日頃は「ちそう」を食べている子どもたちも、日の丸弁当を「おいしい」と言っていたらしいそうに食べました。「食べ物がありがたさを感じる良い機会でした」と吉永さん。

学園全体で行われた春の運動会では、おんぶ競争などをして、保護者とのふれあいを、また秋の運動会では、上級生と下級生のふれあいを大切にしました。

すべての行事には目的があり、その根本となっているのが、大正時代に制定された「自ら伸びよ」という自伸会(生徒会)の信条でした。自分を磨き、人につくして感謝し、きまりを守り、力を合わせて互いに伸びていくという意味を持つこの信条を、子どもたちは胸にきざんできました。そして今の時代にもしっかりと生きています。

「子どもたちには、自分が大切にされていることを感じながら育ててほしい。物質的なことのみではなく、心のぬくもりを伝えていくことですが、家庭や地域に求められているのではないのでしょうか」と語ってくれました。

市民憲章

わたしたちは、海・山・空 夢ひらくまち
三原をめざして、この憲章を定めます。

- 豊かな自然をいかし、美しいまちにしましょう。
- 歴史と文化を大切に、人をほくむまちにしましょう。
- みんなで助け合い、人かふれあいまちにしましょう。
- 心もからだも健康で、明るいまちにしましょう。
- 楽しく働き、活力あまちにしましょう。

固定資産税

縦覧帳簿の縦覧

縦覧期間 5月31日(水)まで
(土・日曜日、祝日を除く) 8時30分~17時15分

縦覧場所 資産税課(市役所本庁2階)、各支所の住民生活課

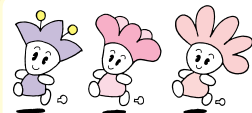
土地・家屋の納税者は、所有する資産が適正に評価されているかどうかを判断するために、他の土地・家屋も縦覧できます。

本人を証明する運転免許証、健康保険証、納税通知書などが必要です。

問い合わせ先 資産税課(☎0848⑥76032) 本郷支(☎48⑥76132) 所住民生活課(☎0848⑧1114)・久井支所住民生活課(☎0847③2114)・大和支所住民生活課(☎0847③3022)

あ・と・が・き

春に咲く花と言えは、「桜」を想い浮かべる人が多いです。市内にも桜の名所と呼ばれるところが多々ありますが、桜のほかに大和町の「桃」、沼田西町の「エヒメアヤマ」など、春に咲く花があります。それらの開花にあわせて今月は、「だいわの桃まつり」や「沼田西のエヒメアヤマの一般公開」があります。「沼田西のエヒメアヤマ」は自生南限地帯として国の天然記念物に指定されており、毎年むらさき色のかねんな花を咲かせ、観賞に訪れる人々を楽しませてくれます。一方そのかげでは、保護活動として地元住民らでつくる保存会の人たちが、毎年自生地の下草刈りなど地道な活動を続けています。いつまでもかかれんな花が咲き続けるのを願っています。(お)



三原市の人口

(2月28日現在)

世帯数	42,809世帯(+211)
人口	105,370人(-549)
男	50,462人(-218)
女	54,908人(-331)

()内は前年同月、合併前の総数との比較

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。